



校長

喜多秀哉

「いのちの出遇い」

今年の春は中学、高校合わせて315名の新入生が本学園の水ヶ江キャンパスへと入学してきた。真新しいやや大きめの制服に身を包み、少し緊張した表情の新入生は、これから3年間、6年間に期待と不安をいだきながら入学式を迎えたことだろう。初めて出遇うクラスメートと顔を合わせ、お互に声をかけこれから学生生活がスタートしていく。この出遇いは、多くの偶然が重なり合い初めて出遇う「縁」である。もし生きている時代が異なれば、もし、生まれた年が違っていたら、もし違う国で生活していたら、もし進学者の選択肢に龍谷を選んでいなければ：と、様々に考えていくと私たちの出遇いは決してあたりまえではない。出遇うべくして出遇つた私たちなのだ。日本語に「あたりまえ」という言葉があるが、「あたりまえ」の反対はと尋ねられ、答えに窮する人もいるだろう。「あたりまえ」の反対は「有難い」である。(あえてカタカナや日本の漢字で記載させていただくが)「ありがとう」という言葉を世界各国の言葉にしてみると、英語では「サンキュー」、

フランス語では「メルシー」、ドイツ語では「ダンケ」、中国語では「謝謝」、ロシア語では「スパシーバ」と言う。

これらの言葉を直訳すると、どの国の言葉においても「私が相手に対して思いを伝える」という意味になる。ところが日本語だけは「有難う」と言う。

そこに有ること（存在すること）自体が難しいと、「縁」による偶然の出遇いという意味の言葉になる。私のいのちは過去からつながったいのちであり、その中の一つでも欠けていれば私には届かなかつたいのちもある。また、つながつてきたいのちである。そして私は今までつながつたいのちであつても今の

歳まで生きていなければ今私は存在しないし、隣のいのちもまた同じである。また今日一日を生きるためどれほど多くのいのちを私たちは犠牲にしていることだろう。何気なく生活してい

る」と気づかないいのちのつながりがここにもあるのだ。今日まで続いてきたそれぞれのいのちが龍谷キャンパスで出遇い、新たな学生生活がスタートしていく。本学の建学の精神にもある「感謝」の心を忘れることなく「有難い」縁の中で精一杯自分の生命を輝かせてほしい。

新学期、慌ただしい4月が過ぎ、龍谷中学校・高等学校に新入生としてご縁をいただいた生徒の皆さんも、徐々に学校生活に慣れつつあるところです。本校の体育館横には桜の木があり、毎年3月終わり頃にかけてきれいな花を咲かせてくれます。ただ新年度の慌ただしさの中で、いつの間にか散ってしまいますなあ…と気づくことも残念ながら毎年のことになってしまっています。

そんな桜を眺めながら、いつも感じることがあります。日本の文化では『平家物語』に代表されるように、『平家物語』に代表されるように、栄えた状態がいつまでも続くことはないつかは滅びてゆく、といふ「無常」に美しさを感じる傾向が強いようです。哀しさ、はかなさが前面に押し出された「無常」の捉え方といつてもよいかも知れません。

しかしこの日本的「無常」の捉え方は、本来の仏教の一側面でしかないのです。お釈迦さまが説かれた「無常」とは、「この世のあらゆるものは、一瞬として同じ状態ではなく、刻一刻と変化を続けていく」という考え方です。だから「常では無い」ということです。桜の花も永遠にその姿をとどめることはありません。気づけばあつと時間が散っていくものでしょう。「無常」

であるが故に仕方のないことです。私たちも同じことが言えます。生まられて年を重ね、そして命を終えていく。時期では「成長」と言い、またある時期では「老化」と言う。これは「人間のものさし」で命を捉えた時に浮かびあがる勝手なはからいではないでしょうか。「仮のものさし」で命を捉えたならば、そこにはただ「無常」常に変化を続けていて、たまたま今ここに生きているという、本当の命の在り方が浮かびあがつてくるのです。

お釈迦さまが説かれた「無常」の本来の意味。なかなか素直には受け入れることのできない愚かな私がここにいます。同時にこの愚かさに気づかされることが、仏道の第一歩なのかもしれません。

同朋



龍谷中学校・高等学校の正門の掲示板にある「この日、この時、この場所が私のすべて」という言葉を受け止められる生き方をしたいものです。

龍谷中学校・高等学校の正門の掲示板にある「この日、この時、この場所が私のすべて」という言葉を受け止められる生き方をしたいものです。

入学式

4月9日(月)、春の暖かな日に、龍谷中学校・高等学校の入学式が挙行されました。緊張ながらも期待に満ちあふれた様子で、高校生297名、中学生20名が龍谷学園での生活をスタートさせました。校長先生の式辞の中にあつた「奇跡のような偶然の重なり合いで生まれた出会いの尊さ」を心に、他者への感謝を忘れず、しっかりと自分の人生を歩んでほしいです。

惜しくも桜は葉桜へと変わりつつありましたが、新入生の皆さんのお龍谷中学校・高等学校での生活が満開の桜のように彩り鮮やかものになることを心より願っています。



～修学旅行～

海外コース

年生の修学旅行が実施されました。

ランドでの自由行動、普通科の生徒は東京スカイツリー見て東京大学の見学と大学生との交流を行いました。本郷キャンパス田大学の学生が同乗し、受験勉強のアドバイスや実際の学今後の進路実現に向けて参考にできる機会でした。

遺産見学はもちろんのこと、自分の目で見て触れて感じる強をしている学生がガイドとなり、タイの一般の生活やシカ分かれて体験しました。一般的な観光ではなかなか経験できた。また、バンブーダンスや好みのアロマを作成するなど貴重な経験を積むことができました。

大きな思い出になったと生徒も実感しています。



願正寺参拝

4月16日(月)に新1年生の恒例行事である「願正寺参拝」が行われました。龍谷中学校・高等学校は、佐賀市の願正寺内に建てられた「振風教校」がルーツです。学校生活に徐々に慣れつつある新入生が、龍谷発祥の地に集い、これからの中学校生活への思いをまた一層強く持つことができました。普段はあまりお寺に縁のない生徒も、堂内の雰囲気に多少緊張している様子でした。

改めて龍谷高校生としてのスタートラインを確認することができた、有意義な行事であつたと思います。



4月10日(火)、在校生と新入生にとって初の顔合わせとなる対面式が行われました。ともに初めて見る後輩、先輩をそわそわと楽しみにしている様子がひしひしと伝わってきます。まだまだ不安の拭えない新入生達に、高校生徒会長の足立誠さん(③佐大附属)は「学校生活のなかで、なにか楽しさを見出してほしい」と、中学生徒会長の藤生一華さん(③赤松)は「不安なことはなんでも先輩に相談してほしい」と優しくアドバイスを送りました。それを受け、中学生代表の高山凜夏さん(高木瀬)は「正しい知識や思考力を身に付け、自分の進む道を築いていきたい」と、高校生代表の川崎健太郎さん(金泉)は「何事にも全力で臨み、高校生のときにしか得られないものを得たい」と力強く決意を表明しました。

これで、新入生の皆さんも名実ともに龍谷学園の仲間です。ときには辛いこともあるでしょうが、そんなときは仲間や先生をおおいに頼つてください。



対面式



ドキドキワクワクの5日間

国内コース

2月12日から16日(海外は15日まで)の期間で、2国内は新潟●南でのスキー研修の後、東京ディズニーランドを行いました。特別進学科の生徒は、初の試みとしてシティのマンホールのふたには「東京帝國大学」と字を散策しました。またバス移動の中で東京大学・早稲田大学など、とても貴重な話を聞くことができました。

海外はタイへの研修旅行を行いました。王宮や世界遺産などの多いプログラムでした。まず現地で日本語の勉強会、博物館等の見学をグループ4、5人に分かれ、生徒がタイの文化を直接体験できる施設に行きました。どちらのコースもとても充実しており、高校生活の





カナダ研修

3月18日(日)～31日(土)まで、カナダバンクーバー郊外のメイプルリッジでの英語語学研修に11名の生徒が参加をしました。現地時間の午後4時頃スタディセンターに到着をしました。時にはすでにホストファミリーは集まつてあられ、簡単な自己紹介をしたあと各家庭にやや緊張した面持ちで向いました。

研修期間中、平日の半日はスタディーセンターにて英語研修を行いました。英語そのものはもちろん、カナダの文化を大いに学ぶことができました。グループでのプレゼンテーションや、研修の集大成として、資料を見せながらのスピーチにも臨みました。あの半日はショッピングモールに出かけたり、カナダの5ピンボウリングを楽しんだり、リーン渓谷で自然を満喫したりとアクティビティも充実していました。また、ブリティッシュコロンビア大学で現地の学生と交流をし、アカデミックな雰囲気を味わいました。生徒たちが一番楽しみにしていたバンクーバー1日研修では、世界でも珍しい蒸気時計があるギャラクション、オリンピックトーチ、スタンレーパークを観光しました。

各家庭には生徒1～2名が滞在し、最初は英語を聞き取って、Yes、Noを言うのが精一杯だったのが、次第にその日の出来事など自分から話したり、聞きたいことを尋ねたりと会話がえていくことに喜びを感じたようです。週末はホストファミリーと過ごし、中にはゴルフやスケート、ゴーカート、美術館、ショッピングモールに連れて行ってもらったり、大勢でのパーティを経験した生徒もいました。研修がこれだけ充実していたのも、それぞれのホストファミリーが家族の一員として暖かく迎えてくださったおかげです。参加した生徒たちはとても充実した研修を行うことができ、大満足して帰国しました。この経験によって、これから英語の学習にさらに力を入れ、将来、広い視野を持つた国際人になってくれることを願っています。



G-pro 赤松公民館で「さが創生発表会」

平成30年2月19日(月)、特別進学科2年生(55名)が赤松公民館で「さが創生発表会」を行いました。これは、佐賀大学との連携によるGlobal Leadership Projectの一環として取り組んできた「さが創生発表会」(平成29年11月17日(土)開催)をもとにして、地域の方々に高校生としての提言を発信したものでです。生徒たちの研究テーマ領域は、「食」「観光」「イベント」「防災」「福祉」「ボランティア」など多岐にわたっており、12のチームで考えたそれぞれの切り口で、「佐賀がもっと元気になるにはどうすればいいか?」についてリーサスなどの統計資料を活用しながら、根拠を明らかにして具体的な提言を行うことに挑戦しました。

校内発表会で最優秀賞に輝いた「牛丼プロジェクト」をはじめとして、「さがほのかで水ヶ江商店街を活性化する新商品開発」や「佐賀城下のおぼりに浮かぶカフェをつくって観光客をふやす」など赤松校区に関係が深いもの、「DK・JKプロジェクト(県内のボランティア高校生を集めて地域活性化のアイデアを募り、企画化行動化を図る)」のように高校生ならではの提言など、どのチームの発表も興味深い内容でした。



赤松公民館の館長さんより「龍高生の地域活性化プランを聞いて、とても頼もしく思った。自信を持って自分たちの考えを発信してほしい」と講評をいただきました。



部
活
動

紹
介

4月12日（木）⑤⑥時間目の時間間に、新入生を対象とした恒例の部活動紹介が開催されました。生徒会が主催で、各部活動が2分以内に様々な工夫を凝らしてアピールを行いました。書道部の書道パフォーマンスや、柔道部はマット上の上で背負い投げなど、それぞれの部活動が新入生を迎えるために一生懸命な姿がありました。最後は吹奏楽部の生演奏で、自然とダブルアンコールまで求められる盛況ぶりで終了しました。

新1年生の皆さんには、勉強はもちろん部活動にも積極的に取り組んでもらいたいです。

3	。女子位	優勝	3	。女子位
2	位	田中	2	位
3	。女子位	中村明日香	3	位
2	位	久保舞都奈	2	位
3	。女子位	山崎り投げ	3	碧
3	。女子位	有加34	3	碧
2	位	m	2	位
3	。女子位	城67	3	位
3	。女子位	(3)大	3	江
2	位	鏡町	2	北
3	。女子位	北	3	北
1	1		1	
m	m		m	
50	60		50	

△平成29年度佐賀県高等学校
 (3月24日) 武雄高等学校
 男子団体

決勝トーナメント
谷0-1-3
龍谷谷谷
那鹿児島
柳ヶ浦ベスト8
宮崎日大

△平成29年度 サッカー大会 ト(2月17日～19日)	第39回九州高等学校 予選リーグ 決勝トーナメ	準決勝 決勝	龍谷 谷谷 2-1 0	龍谷 谷谷 佐賀東	鹿島 佐賀北 島
総合運動公園(宮崎県)	ヤマザクラ』				

サッカー

(学年は新年度で表示しています。)

男子バレー・ボール
◇小城観桜大会兼全九州バレー・ボール総合選手
　権大会佐賀県予選(4月21日 多久高等学校)
龍谷 0-12 佐賀学園

(3月17日～18日)
沖縄県宜野湾市、他
△第49回佐賀県高等学校春季選手権大会(3月
25日～27日 三日町体育館、他)
1回戦 龍谷 41-1 63
3位 鹿児島商業
優秀選手賞 下平大志郎 (③成
2回戦 龍谷 谷 40 58 70 66
3回戦 龍谷 谷 72 43 63 37
準々決勝 龍谷 谷 有田 章
準決勝 龍谷 塩田 工
準決勝 谷 城 工
龍谷 谷 佐賀北

○第48回全九州春季佐賀県大会(1月13日~14日)	4位
日 諸富文化体育館ハートフル	
優秀選手賞	
4回戦	2回戦
決勝リーグ	決勝
龍谷	龍谷
50 55 50 48	101 82 72
57 80 97 41	44 62 45
鳥栖工	佐賀北
佐賀東	三養基
高志館	鹿島実
北陵	附属
九州大会出場	(3)
七田篤紀	

3 位	○ 男子ダブルス 仲村 上瀧	○ 翔瑛 裕太 和(②大)	○ 男子シングルス 仲村 裕太 (③大)	○ 男子シングルス 上瀧 翔瑛 (②大) (和)
3 位	○ 男子ダブルス 翔瑛 和(②大)	○ 男子シングルス 仲村 裕太 (③大)	○ 男子シングルス 上瀧 翔瑛 (②大) (和)	○ 男子シングルス 上瀧 翔瑛 (②大) (和)
3 位	○ 男子ダブルス 翔瑛 和(②大)	○ 男子シングルス 仲村 裕太 (③大)	○ 男子シングルス 仲村 裕太 (③大)	○ 男子シングルス 上瀧 翔瑛 (②大) (和)
3 位	○ 男子ダブルス 翔瑛 和(②大)	○ 男子シングルス 仲村 裕太 (③大)	○ 男子シングルス 仲村 裕太 (③大)	○ 男子シングルス 上瀧 翔瑛 (②大) (和)

講上	安武	八並	篠崎みのり	×100	女子4
乃愛	遥夏	華捺	リレーチーム	100m	ミリレーニ
(3)	(2)	(2)	城	52	秒
白	白	城	北	39	石
石	石	東	北	39	石

◇第72回小城観桜大会兼第63回バレー・ボーリー
合選手権大会佐賀県予選(4月21日～22日)
芦刈文化体育馆



自転車

A グループ 第3位
龍谷高校・佐賀西高校・武雄ユース合同チーム
7-21
鳥栖工業
佐賀工業

△第5回全国高等学校7人制ラグビーフットボール佐賀県大会(4月14日) 佐賀工業グラウン

全力。チーム龍中！

2018春 新学期スタート！

中学校

新たな出会い ようこそ龍谷へ

入学式



4月9日(月)に中高合同での入学式が行われ、第25期生20名が龍谷中学校の新たな一員として入学しました。新一年生は新しい制服に身をつつみ、緊張した面持ちで校長先生や来賓の方の話に耳を傾けていました。

新入生代表の宣誓を奥田怜子さん(勧興小)が行いました。奥田さんは「夢を叶えるために、これから栄える龍谷中学校の一員として勉強やスポーツ、芸術などの学びに諦めることなく全力で取り組みます。」と、元気にしつかりとした声で宣誓しました。「チーム龍中」を共に背負っていく仲間として、25期生のこれから活躍に期待します！

親睦を深めた2日間 ～新入生宿泊研修～

4月11日(水)から12日(木)にかけて、「大川市ふれあいの家」において1泊2日の新入生宿泊研修を行いました。「友だちの和を広げよう」というテーマのもと、中学校生活のあり方や学習の仕方を学ぶと共に、生徒たちがお互いに理解し合い、友情を育むという目的で毎年実施しています。

研修では、これからの学校生活や学習の仕方について担任の先生の話を聞いたり、将来の夢を語り合ったり、二日目にはカレーライスを協力して作つたりと、新入生にとって充実した二日間となつたようです。

《生徒の感想》

研修に参加して龍谷中学校の生徒としての自覚を高めること、互いに認め合つて友情を深めることができました。今まで小学生でいた気分を切り替えて、中学生生活のあり方について学習することができたのでよかったです。

これから、龍谷中学校の生徒として何事にも責任を持つて取り組みたいと思います。

古川

麗音さん (①神野小)



二日目は野外炊飯をしました。班のみんなで協力してカレーを作りました。できたカレーはお米が硬くてルーは辛かつたけれど、みんなで作ったカレーだったのでおいしかったです。この研修に参加して、「みんなと話して名前と顔を覚える」「仲間と協力していろいろなことに取り組む」という目標を達成することができたので、有意義な研修になりました。

横須賀 愛理さん (①二勲小)

ほくの研修の目標は、「班長としてみんなをまとめる」ということでした。一日目の研修では先生の話をしつかり聞くことができ、「ほくの夢・私の夢」の発表もはきはきと言え、またメモをとりながら聞くことができました。野外炊飯ではみんなで仕事を分担してカレー作りに取り組みました。班長としてみんなをまとめることができたし、仲良くなれたのでよかったです。

大曲 巧真くん (①銀水小)



生徒会活動にも部活動にも「全力」

～生徒会総会・部活動紹介～



4月18日(水)に講堂にて、生徒会総会及び新入生対象の部活動紹介が行われました。今年度の生徒会のスローガンは「笑ったもん勝ち～YDR～（やればできる龍中生）」。笑顔あふれる学校にしたい、クラスマッチや体育大会などの行事もみんなで協力し、笑顔で成功に導いていきたいという思いから決定しました。3年生の向井源議長（③北鹿島小）の進行のもと、各委員会の委員長・副委員長が年間の取り組みについて



生徒総会後に行われた部活動紹介では、各部がそれぞれの活動を新入生に紹介しました。ESS部は、英語を使った寸劇を披露して英語を学ぶことの楽しさや活動について新入生にPRしました。

生徒会活動に部活動にと、様々な場面でひとりひとりがいきいきと輝いてくれることを期待しています。

て全生徒に提案し、承認を求めました。また生徒会が中心となつて打ち出している「いじめゼロ宣言」を全員で発表し、いじめゼロの学校づくりに向けて気持ちを新たにしました。

生徒会総会後に行われた部活動紹介では、各部がそれぞれの活動を新入生に紹介しました。ESS部は、英語を使った寸劇を披露して

アムにいて「青少年の現状と本音を知る会」が開催されました。龍谷中学校を代表して10名の生徒が参加し、附属中学校や成章中学、昭栄中学校などの佐賀市内の中学生約30名とグループに分かれ、「佐賀のよさと課題、その解決策」についてディスカッションを行いました。龍中から参加したメンバーも自分の意見を堂々と主張したり、まとめの発表をしたりすることことができました。他校の生徒と交流できる数少ない機会を最大限に活かし、自信を深めたようです。

佐賀の「これから」を考える

～青少年の現状と本音を知る会～

1月14日(日)バルーンミュージアムにおいて「青少年の現状と本音を知る会」が開催されました。

参加メンバー
△3年△

東堂 陽葵（大原小）
豊増 里穂（旭小）
福田 舞（有田中部小）
中牟田青空（循誘小）
吉田 清哉（東与賀小）

井口 芽衣（下妻小）
鐘ヶ江朱香（日新小）
深川 礼乃（大詫間小）
川口 瑛睦（日新小）
小早川賢州（道海島小）

△2年△



今年度の中学校職員室常駐職員です。よろしくお願いします！

陣 田 吉 村 中 森 千 原 千 希	内 阳 拓 也 真 由 美 鶴 千 原 千 希	阳 子 (副校长・英語)
清 德 吉 田 千 原 千 希	（教務・数学）	
西 村 慶 原 千 原 千 希	（国語）	
ティファニー・スミス (英語)		



九州龍谷短期大学

鳥栖市

TEL 0942・85・1121

学園だより

佐賀龍谷学園が設置する学校（短大・高校・中学）に、兄弟姉妹が一人以上在籍する場合、二人目以降のお子様の入学金が減免されます。

詳しく述べは、各学校事務室までお問い合わせください。

新入生歓迎会を開催しました！



4月21日（土）に新入生歓迎会を行いました。2年生の学生会メンバーが中心となって準備を進め、たくさんの1年生が集まりました。

当日は、朝から気温が上昇し、天気予報通りの一足早い夏日となりました。1年生はチームに分かれた後、それぞれが自己紹介をして、色々な競技をすすめる中で、親睦を深めました。

終了後は、バーベキューで一層親睦を深めていました。



九州龍谷短期大学のLINEアカウントができました。

受験を検討されている皆さんに、オープンキャンパスやガイドの出展情報、入試情報など様々なお知らせをお送りします。

「九州龍谷短期大学」で検索後、ぜひ「友だち追加」してください。

幼保連携型 認定こども園

九州龍谷短期大学付属

龍谷こども園



新しい先生と一緒に♪



たけのこと背比べ！



こいのぼり作ったよ！



初のランチルームで給食を食べてます！



春の光の中！砂遊び～



春の光の中！外遊び♪



新しいお部屋（0歳児室）

こども園の春は芽ばえています



新しいお部屋（1歳児室）